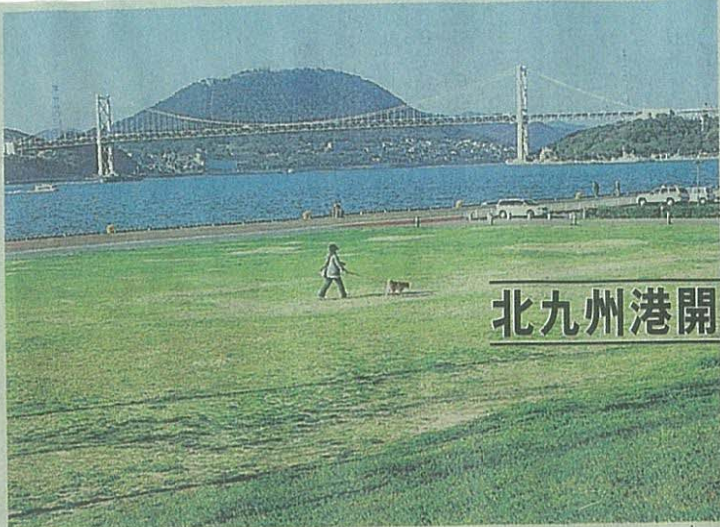


年間通じ多彩な催し

北九州港は十一月に開港百二十周年を迎える。北九州市や港湾関係者で組織する実行委員会は、市内の岸壁を主会場にしたスポーツイベントやフェリーの船内見学会、シンポジウムなど、年間を通じた記念行事を開



北九州港開港120周年記念

催し、市民に親しまれる港づくりを目指す。北九州では一八八九年、外国貿易港の門司港が幕開け。一九六四年、門司と小倉、洞海の三港が統合し、北九州港が発足した。二〇〇七年のコ

秋に人工ビーチが設置され、ビーチバレーが披露される海峽ドラマシップ前の広場

環境保護テーマにシンポも

ンテナ貨物量は全国八位。中国や韓国などに航路を持ち、自動車部品や化学薬品を貿易している。イベントの皮切りは五月。小倉北区の北九州芸術劇場でテレビ番組「開運」なんでも鑑定団」のコーナーで、港ゆかりの品を収録。夏は、普段立ち入り禁止の港湾施設を陸海から見学する「港の不思議 探検ツアー」を開催する。百二十周年を迎える秋には、門司港レトロ地区の海峽ドラマシップ前に、約五千平方メートルの人工ビーチを設置。ビーチバレーのエキシビションマッチや、フェリーの船内見学、環境保護をテーマにしたシンポジウムなども予定。今後、実行委で各事業の詳細を決める。

3月28日(土曜日)
西日本新聞
朝刊・夕刊 ()

3月27日(金曜日)
西日本新聞
朝刊・夕刊 ()

▼北九州港開港120周年記念「出張」なんでも鑑定団 in 北九州」公開収録 5月4日(月)午後1時、小倉北区室町の北九州芸術劇場。テレビの公開収録を観覧。定員1200人。申し込みは、往復はがきで、4月10日消印有効(抽選)。無料。北九州市港湾空港局 093(321)5000。